

## 導入事例

Case Study

ダイリキ株式会社

様

まいにちが、新しい。

Dairiki

ダイリキ株式会社



ダイリキ 甲子園店

## 紙やFAXでの運用を「Google Apps™ for Business」で効率化 勤怠管理、動画マニュアル、発注作業、店舗衛生チェックをクラウド ベースでスマート管理

「いいものを安く」を企業理念に、常に新しい食肉店作りを目指して店舗デザインやディスプレイ、商品や接客・サービスの改良に取り組んでいるダイリキ株式会社(以下、ダイリキ)では、「Google Apps™ for Business」を採用し店舗業務の改革を行いました。従来の紙や電話・FAXによる業務運用を、Google ドライブや、Google サイト、SSO\*を活用した運用に切り替えることで、業務効率化に成功しました。

\*SSO(シングルサインオン)はログインページから1度ログインするだけで、ユーザが「Google Apps™ for Business」のすべてのサービスにセキュアにアクセスできるサービスです。

## 課題と効果

## 課題

## 1

既存のグループウェアは、オンプレミス型の基幹システムと連携していたため、レスポンスが遅く作業に時間がかかっていました。そのうえ操作性も悪く、社内で不評でした。



グループウェアを「Google Apps™ for Business」に切り替えた結果、レスポンス時間が3分の1に短縮されました。操作性も向上したと社内で好評です。

## 効果

## 2

店舗での紙や電話・FAXによる業務運用の見直しを検討していましたが、既存のグループウェアで利用可能な機能は、メール・カレンダーなどに限定されていました。サポート対象ブラウザのバージョンも古く、今後の運用面で利用に適さなくなっていました。



「Google Apps™ for Business」には、Gmail、Google カレンダー、Google ドライブ、Google サイト、オプションにはSSOなど多様なサービスがあるため業務に幅広く活用できるうえ、Google Chromeの最新版を常にサポート。従来の保守費用・ランニングコストと「Google Apps™ for Business」はほぼ同額で、コストパフォーマンスが向上しました。

## 3

業務運用見直しにともない、店舗に備え付けたパソコン以外の端末からもアクセスできるシステムを構想していましたが、既存のグループウェアはスマートフォン・タブレット端末からアクセスできず、多くの制約がありました。



「Google Apps™ for Business」は、スマートフォン・タブレット端末からのアクセスも可能。忙しい店舗社員が場所の制約を受けず「Google Apps™ for Business」へアクセスし、シームレスな情報共有や業務対応が可能になりました。



ダイリキ株式会社  
情報システム  
担当責任者  
船戸 勇樹氏

ダイリキ株式会社  
ダイリキ 甲子園店  
店長  
杉本 晃一氏

## 導入の背景 店舗業務のシステム化にともない既存のグループウェアでは機能不足

関西を拠点に、57店舗の食肉専門店を展開するダイリキ。対面販売を中心に常に「新しい食肉店」作りに取り組んでいます。「肉を扱う技術や鮮度管理体制、顧客ニーズにあった商品展開や接客サービスを実現するため、仕入れから販売まで独自のネットワークシステムを構築したり、一般主婦調査員による店舗チェックシステムを導入するなど徹底した品質管理を導入しています。店舗での業務についても従来の電話や紙・FAXでの業務フローをシステム化する方向で検討していました」と同社の船戸氏は語ります。

同社が利用していた既存のグループウェアはオンプレミス型の基幹システムと連携していたため、レスポンスが遅くシステム自体の操作性も悪いのが悩みでした。「作業に時間がかかる」と社内では不評だったといいます。

「今後、当社が構想するシステムを実現するには、既存のグループウェアでは対応しきれない状況になっていました。サポート対象ブラウザもInternet Explorer 7までなど、今後の運用面でも不安がありました」（船戸氏）。

## 選択のポイント 機能の多様性とコストパフォーマンスの良さが魅力

そこで同社は、ほかのグループウェアの導入を検討し始めました。着目したのが、「Google Apps™ for Business」。世の中の流れに対応して、グループウェアをクラウド化せよとの社長の一声で、導入検討が進みました。

「『Google Apps™ for Business』を選択した理由は、コストパフォーマンスが非常に良い点です。既存システムと比べてコストアップしていないのに、標準でGmail や Google カレンダーのみならず、Google ドライブ、Google サイト、オプションでSSOといったさまざまなツールやサービスがあり、活用の幅が広がりました。ソフトバンクテレコムサポート体制も整っていて大変満足です」と船戸氏は

評価します。

「Google Apps™ for Business」は、スマートフォンやタブレット端末からアクセス可能な点も同社のニーズに合致したといえます。店舗のパソコンは対面販売の店先にあり、落ち着いて閲覧する余裕はありません。置き場所に制約されず、手軽に持ち運べ自由に閲覧できるデバイスの導入も同時に検討していました。

そして同社の課題をすべて解決するグループウェアとして、「Google Apps™ for Business」が選択されました。

## 導入の概要と効果 店舗業務のシステム化と社内コミュニケーションの活性化に成功

現在同社は、本社および店舗のほぼ全社員に計100個の「Google Apps™ for Business」のアカウントを配付しています。Google サイトで社内ポータルサイト開設し、本社からの店舗への連絡事項伝達に活用したり、Google ドライブのスプレッドシートを活用した発注業務や、フォームでの店舗衛生管理チェック業務、SSOを利用した勤怠管理など、さまざまな機能を活用して業務改革に役立っているといえます。

「特に『Google Apps™ for Business』と連携させた勤怠管理システムは操作性も良く、使いやすいと好評です」（船戸氏）。

SSO機能を利用して構築した勤怠管理システムは、「Google Apps™ for Business」にいったんログインすると、そのままユーザ認証無しに勤怠管理システムを利用できる仕組みになっています。

Google サイトを利用した「社内ポータルサイト」の立ち上げも、本社・店舗どうしのコミュニケーション活性化に効果を上げています。「お互いを褒め合う風土を大切にしている当社では、表彰やコンテストを多数開催しています。受賞者のインタビュー動画を『社内ポータルサイト』上に掲載し社内でも共有しています。パートやアルバイト社員からもコメントがあがるなど、店舗や職制を超えた交流がモチベーションアップにつながっています」（船戸氏）。このほか、「社内ポータルサイト」には新人教育用の挨拶や接客方法、肉の切り方などの動画マニュアルなども掲載し、業務に役立っています。「動画による教育は、新人の飲み込みも早く非常に効果的」と店長を務める杉本氏は語ります。

同社では、タブレット端末を各店舗に1台ずつ導入する取り組みも行いました。これにより、バックヤードや休憩室にタブレット端末を持ち込み、場所に制約されず

「社内ポータルサイト」や動画マニュアルを閲覧することが可能になりました。店舗の店先に設置されているパソコンでは「社内ポータルサイト」をじっくり閲覧する余裕はないため、タブレット端末から閲覧可能なことは「社内ポータルサイト」の利用促進に大きく貢献しています。



## 今後の展開 さらに効率化に向け社内業務のシステム化を推進

「現在は一部の従業員のみでテスト運用しているGoogle+\* のSNSやハンガアウトも積極的に活用し、店舗間の横のつながりをさらに強めていきたいと考えています。紙で運用しているシフト管理も勤怠管理システムに統合する予定です。これにより、店長のワークフロー管理業務の効率化が見込めます。アルバイト社員も自身のスマートフォンからアクセスし、勤怠登録や「社内ポータルサイト」の閲覧が可能になります。発注業務についても、現在はGoogle ドライブのスプレッドシートに各店舗から発注品を入力してもらい、本社で取りまとめ注文するという運用を

行っていますが、根本的にシステム化する予定です」（船戸氏）。

「Google Apps™ for Business」を活用することで、店舗での業務効率化と社内のコミュニケーション活性化に成功した同社。さらなる業務改革を続けることにより、新たなワークスタイル作りへのチャレンジを続けると船戸氏は語ります。

\*「Google+」はソフトバンクテレコムサポート範囲外です。

まいにちが、新しい。

**Dairiki**

本 社：大阪市西区新町1-27-9  
創 業：2008年(平成20年)10月  
資 本 金：9,500万円  
売 上 高：79億7549万円(2013年3月期)  
従業員数：正社員107名(男97名、女10名)  
パート83名・アルバイト504名  
合計 694名 ※2013年7月1日現在

事業概要：1965年の創業以来、対面販売にこだわり、関西を中心に、57店舗を展開(2012年8月現在)。国産肉の安全・安心・正直を支えるトレーサビリティ管理システムの確立や、一般の主婦調査員が店舗チェックを行うシステム導入などの取り組み、「お肉をおいしくするたれ」へのこだわりからお肉に一番マッチした「本だれ」の無料味付けサービスを行うなど、「技術力」と「サービス力」を提供し、おいさを追究する肉のプロとして常に「もっと新しい食肉店づくりへ」チャレンジしている。

U R L：http://www.dairiki.co.jp/index.html

\*サービス名称は一般的に各社の商標または登録商標です。  
\*Google Apps は Google Inc. の登録商標または商標です。

※掲載内容は、2013年9月現在のものです。